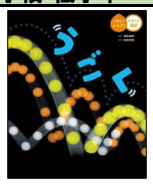
2026年度(令和8年度)

冬休みにおすすめする本

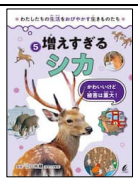
選　定　北海道学校図書館協会

選定協力　札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント　もしくは出版社による紹介など
	幼　児			
1		**あのひのまたあした** かさい　まり/作 岡田　千晶/絵 978-4-323-07619-5	金の星社 2026.7 1,650円	誰かのそばにいたいとき、自分のそばにいてほしいとき、どんな気持ちになるんだろうか。「またあした！」が心の支えになる一冊。 雷の響く夜、ネズミを心配して不安に包まれるリス。翌朝、ネズミのもとに駆けこんだリスは、ネズミの優しさに包まれて、温かなきもちでいっぱいになります。「不安」が、どこからともなくやってくるときがあります。そのきもちに向きあい、戦おうとするけれど、つぎつぎとやってくる不安が重なって、大きくふくらみます。ひとりでは溶かせない心の不安を、だれかのぬくもりが消してくれる。 大切な存在を思い浮かべながらページをめくってほしい、 小さな2匹の物語。
2		**せかいをみてきた ペンギンくん** M.レイ&H.A.レイ/作 木坂　涼/訳 978-4-7690-2361-6	好学社 2026.7 1，980円	ペンギンランドのラジオ局で働くペンギンくんの困り事は、ラジオで話す「おはなし」がなくなってしまったこと。そこで「おはなし」を見つける旅に出たペンギン。好奇心を糧に進むペンギンくんに勇気をもらえる一冊。 ラジオ局ではたらくペンギンくんが「おはなし」を探して、海に、砂漠に、空にと、世界中を旅します。 「おさるのジョージ」の生みの親H. A. レイの遺産の中から発見された作品を新訳にて刊行！
3		**あめをみる** よしだ　るみ/作 978-4-09-725477-5	小学館 2026.7 1,760円	「ねえおかあさん、うみもあめかな」すべての命を慈しむ、詩情あふれる絵本。 雨が降ってきて窓辺で雨を見ている女の子が公園、街、祖父の畑にも降る雨にも思いを馳せ、海や森、だれの上にも降る雨を詩情豊かに描いた絵本。 「ねえ　おかあさん、うみも　あめかな」－－すべての命を慈しむ、優しい気持ちになる物語。 女の子が、お母さんと一緒に目の前に降っている雨を見ながら、遠くにいる大切な人や、森に棲む動物たち、海の中にいる動物達の上にも降り注ぐ雨を想像していきます。 小さいころから、雨が好きです。いつもより少し、静かでやわらいだ光のなか、雨は、だれの上にも等しく降り注ぎます。見えない遠くの場所にも、きっと。その先にあるものに、そっとふれるように。
4		**はっぱどろぼう** アリス・ヘミング/作 ニコラ・スレイター/絵 木坂　涼/訳 978-4-09-725464-5	小学館 2026.9 1,980円	木の葉が枝から落ち、だれかに盗まれたと思いこんだリスくんが、トリさんに「大変だ、葉っぱがとられた」と言いに行き、トリは風のせいだと教える。二匹のやりとりを通して季節の移り変わりがわかる。 「え!?ちょっとまって！　ぼくのだいじなはっぱが、いちまいない！」ある日、自分の葉っぱがなくなったことに気づいたリスくん。葉っぱを盗んだ犯人「はっぱどろぼう」を、友だちのトリさんと探しにいきます。リスくんは「はっぱどろぼう」を見つけることができるのでしょうか？ ちょっと忘れっぽいリスくんと、思慮深いトリさんのテンポ良い掛け合いは、読み聞かせにもぴったりな1冊。
5		**わっちゃった** X.ファン/作・絵 中井　はるの/訳 978-4-19-866269-1	徳間書店 2026.9 2,200円	おばあちゃんのカップをわっちゃった。おばあちゃんはねこのミミがわったと思ってる。どうしよう。私とおばあちゃんの気持ちが交差する展開と挿し絵に一気に引き込まれていく一冊。 おばあちゃんの大切なマグカップをわっちゃった！ネコのせいってことにしておこう。でも、ネコはあたしをじーっと見てる。おばあちゃんに本当のこと言わなくちゃいけないのはわかってるけど、きっと怒られる…！でも、だいじょうぶ。おばあちゃんはじつは、なんでも修理して使う、ものを大切にする人でした。われたマグカップも、くっつければ使えるし、その分、そのカップについての思い出も増えて、大切に思う気持ちも生まれるよね、とおばあちゃん。誰でも共感できる、ミスを正直に言うまで葛藤する子どもの気持ちをユーモラスに描きつつ、サステナビリティについても考えることができる、現代にぴったりの絵本。
	小学校・低学年			
1		**しぜんのふしぎ！かがくのわ うごく** 真貝　寿明/指導 岡本　好明/写真 978-4-577-05461-1	フレーベル館 2026.7 1,650円	「こまが回り続けるのはなぜ」といった日常の疑問を写真やイラストでわかりやすく解き明かしてくれる。 物理のおもしろさがつまった科学絵本。 停まっているものを走らせるには？物が上から下に落ちるのはなぜ？物が動くためには、たとえば押したり引っ張ったり、何かの力が必要です。その「動きの仕組み」をたくさんの人が研究して発見してきました。身の回りの物をつかって、「動きの仕組み」を探してみましょう！
2		**たまごのないしょばなし** しおたに　まみこ/作 978-4-89309-755-2	ブロンズ新社 2026.6 1,430円	ある日、思い立って詩を書いてみた たまごが嫉妬したり、緊張したりと初めての気持ちに向き合う姿を、3つのお話とシュールで愛らしいイラストで描いたお話。 いけすかない？うらやましい？初めてのこの気もちはいったい何？ やあひさしぶり、不思議な絵童話、第3弾！ ある日ふと、思ったんだ。「詩」を書いてみようかな、って。朗読会で「詩」を披露した、たまご。読み終えると頼んでもいないのに、みんながかってに感想を言いはじめ…
3		**いしとぼく** 小寺　卓矢/文 きくち　ちき/絵 978-4-7520-1193-4	アリス館 2026.6 2,200円	海辺で拾った十勝石の黒く不思議な輝きに目を凝らすと、歴史をさかのぼり始め…。小石から岩、マグマ、原始の地球へと悠久の時を旅する絵本。 君は　世界だ。石を　見つめる、ぼく。くらげも、くまも、きょうりゅうも、そして、これから　生きものになる　ものたちも― 少年が、海辺で丸い石を拾う。ページをめくるたびに時代を遡り、小石から岩、原石、マグマ、そして原子地球へと、石が経てきた時間と場所を読者も一緒に体験していきます。様々な生き物、動物、恐竜たちがその様子を見守ります。
4		**おまつりって、こわい** 樋勝　朋巳/作 978-4-418-26824-5	世界文化社 2026.7 1,760円	ちいさな勇気に寄りそう樋勝朋巳のへんてこワールド。お祭りに憧れるけど怖いとおびえるうさぎちゃんを、いきなりあらわれたかっぱちゃんが、お祭りに連れていく。心が追いつかないうさぎちゃんは…。心の機微をユーモラスに描いた絵本。 お祭りに　あこがれているけれど、「こわい」とおびえるうさぎちゃん。そこに、いきなりかっぱちゃんが現れて、うさぎちゃんをお祭りに連れて行きました！そこには　大勢の人がいて、昔から伝わる音楽が鳴り響いています。こわいけど気になる??。うさぎちゃんは、お祭りを楽しめるかな？

5		**くうき** G.ブライアン・カラス/作・絵 西尾 勝彦/訳 谷本 浩志/監修 978-4-03-348690-1	偕成社 2026.6 1,760円	身近なのに ふだん 意識することはなく、あらゆる命にとってかけがえのない「空気」について、空気自身が 語りかける。地球の生き物 みんなで分かち合っているということを 感じられる 科学絵本。 「わたしはくうき。」という一文で始まる、空気のことを描いた絵本。あまりにも身近で普段意識することの少ない存在でありながら、あらゆる命にとってかけがえのない「空気」のことを、空気自身が語りかけるように綴ります。空気が動くことによって生まれる「風」、空気の中の水分が形を変えることによって生まれる「雨、雪、霧」など、わたしたちの感じる自然のことが大きな視点、詩のような言葉で紹介されます。地球に生まれたわたしたちが皆、この「空気」を分かち合っている、ということ、その奇跡のような恵みを感じられる一冊です。
6		**ライオンのおばけキャンプ** さかとく みき/作 978-4-86549-369-6	中央公論新社 2026.7 1,870円	2泊3日の子どもキャンプで、大きくて力持ちのライオンは頼りにされたけど、実はおばけが苦手。見た目と中身とのギャップへの葛藤をていねいに描き、受け入れる大切さに気づける絵本。 ライオンは「強い」？ キツネは「いじわる」？ みんな、みためとちがうことってあるじゃん？見た目と中身のギャップから生まれる葛藤を描いた物語絵本。 『ライオンのくにのネズミ』待望の続編。
7		**テオのりんご** きたむら えり/作 きくち ちき/絵 978-4-89572-169-1	福音館書店 2026.9 1,320円	おばあちゃんへりんごを届けに行くテオは、手伝ってもらったお礼に、あげたり、おすそ分けしたりしているうちに…。がんばるテオを応援し、助け合う優しさに温かくなる絵本。 2019年に月刊「こどものとも年中向き」発行。 こぐまのテオは、おばあちゃんの家にりんごを届けに行くことにしました。りんごがたくさん入ったバケツを運んでいると、道の途中でアライグマに出会います。アライグマがバケツを一緒に運んでくれたので、テオはお礼にりんごを一つあげました。花をくれたうさぎや、手を貸してくれたリスにもお礼を渡しているうちに、りんごはどんどん減っていき、気がついた時には、バケツはからっぽに。頑張るテオを応援したくなる一冊。
8		**ふでばこじいさん** もとした いづみ/作 室木 おすし/絵 978-4-8138-0696-7	光村図書出版 2026.9 1,650円	まじめで几帳面な中藤くんの筆箱に、ある日突然あらわれた3cm3mmのおじいさんは、おならにいびき、突拍子もないやりとりでふりまわしてくるけど、ピンチには頼りになるし優しくて…。肩の力が抜け自分のことが好きになる心温まるお話。 まじめな小学生・中藤くんのふでばこに、ある日とつぜん、「小さなおじいさん」があらわれた！おじいさんは、いつもねてる。しかも、おならをしてばっかり。なのに、「これはひみつだ。」って、だれにも言っちゃいけないなんて――!? このおじいさん、じつは、優しくて頼れる…！！ふたりで「大ピンチ」をのりこえる、笑えて心温まるストーリー。
9		**だっぴ！** 志津 栄子/作 サトウ ユカ/絵 978-41-323-07623-2	金の星社 2026.10 1,540円	公園で出会ったカナヘビの飼育を通し、内気な少女が〝脱皮〟する成長の物語。好きだからこそ逃がすことにした葛藤や思いがみずみずしく描かれている。 カナヘビの飼育を通し、内気な少女が「脱皮」する成長の物語。苦手なスピーチの克服や命への責任に悩み、葛藤の末、好きだからこそ別れを選ぶ姿を描きます。生き物との絆に勇気をもらえる、みずみずしく感動的なお話。 公園で花を見ていたらなにかがうごいた。カナヘビだ！つぶらなひとみに、シャープな顔。すらりと長いしっぽもすてき！これってうんめいの出会いかも。わたしはカナヘビをポケットにしまい、家につれて帰り、すみかを作った。名前はセナちゃん。あしたはスピーチの日。わたしは人前で話すことがにがてだけれど、セナちゃんのことを話してみよう…。
10		**めのみえないマントヒヒ** **イブナは、きょうもげんきです！** 楠 章子/文 本田 亮/絵 978-4-494-02098-0	童心社 2026.9 1,650円	愛媛県とべ動物園で、目の見えないマントヒヒの赤ちゃん「イブナ」がうまれました。イブナの幸せを考え悩む飼育員さんたち、仲間として受け入れるマントヒヒの群れに見守られながら生きるイブナの実話を描いた児童書。 愛媛県立とべ動物園で、マントヒヒのあかちゃんが生まれました。あかちゃんの名前は「イブナ」。元気に生まれてきてくれましたが、しばらくすると、イブナは目が見えていないことがわかりました。飼育員さんはイブナをどうやって育てていくか悩みます。人工保育で人の手で育てれば心配ごとは減りますが、もうマントヒヒの仲間たちとは暮らせなくなってしまうかもしれません。考えたすえ、イブナを群れの中で育てることにしました。そのためには、いろいろな工夫が必要です。でも、イブナにとっての幸せは、きっと仲間といっしょに暮らすこと！ イブナは、いじめられたり仲間外れされることなく、きょうもとべ動物園で元気に暮らしています。
	小学校・中学年			
1		**きみが知ってる恐竜のこと ぜんぶまちがい!?** ニック・クランプトン/著 がヴィン・スコット/イラスト 田中康平/監訳 喜多直子/訳 978-4-422-43068-3	創元社 2025.10 2,970円	恐竜研究の最前線から、定説を覆す新情報を圧倒的な情報量で伝える一冊。カラフルなイラストと、くわしい解説が盛りだくさん。 きみは恐竜のこと、ぜんぶ知ってる？恐竜はみんなとんでもなく大きかった、あまりやさしくなかった、そんなふうに思ってない？それはまちがいかも！この本を読んで、いっしょにまちがいさがしの旅に出よう！
2		**図解 乗り物の歴史** モリナガ ヨウ/作・絵 WILLこども知育研究所/編 978-4-323-07550-1	金の星社 2025.12 1，980円	紀元前から令和まで、人類が発明した“陸”“空”“川・海”のさまざまな乗り物の歴史を楽しいイラストとくわしい解説で紹介。 人類はより遠くへより速く移動し、物を運ぶため、さまざまな乗り物を発明。そり、蒸気機関車、自転車、電車、帆船、蒸気船、熱気球、グライダー、ジェット機など。陸・海・空の乗り物の歴史を細密なイラストで紹介！
3		**ぼくらがやりたい10のこと** 工藤 純子/作 イシヤマ アズサ/絵 978-4-591-19002-9	ポプラ社 2026.6 1，650円	性格の違う10歳のでこぼこコンビが、「やりたい10のこと」に挑戦！！一歩の勇気が、自分を変えていくことにつながることを教えてくれる。 10歳のでこぼこコンビが「やりたい10のこと」に挑戦！さあ、ぼくらはどんな明日をえがこう？一歩の勇気が、新しいぼくらにつながっていく―。 中学受験を考える母親に、塾のために大好きなイラスト教室をやめるように言われ、どん底の小学4年生・栄太。落ち込んでいたとき、声をかけてきたのは、クラスメイトのゴウ。力が強くて声も大きく、ちょっぴりうっとうしいキャラクターのせいでクラスから浮いているゴウと、絵の世界に入りこみ、とくべつ仲のいい友だちもいない栄太。そんなふたりは、ゴウの提案で、やりたいことを出し合い実行していく「やりたい10のこと」リストをつくり、チャレンジをすることになって……？
4		**おれのなまえは イッパイアッテナ** **ルドルフとイッパイアッテナ外伝** 斉藤 洋/作 杉浦 範茂/絵 978-4-06-542484-1	講談社 2026.6 1,650円	いってみれば、ルドルフと会うまで、おれがなにをしてきたかという、おれの自伝がこの本だ。「ルドルフ」に会うまでに「イッパイアッテナ」という猫がどのように生きてきたかが、「イッパイアッテナ」の視点から語られる。 いってみれば、ルドルフと会うまで、おれがなにをしてきたかという、おれの自伝がこの本だ。おれは、ねことしちゃあ、体はずいぶん大きくて、灰色がかった茶色に、黒っぽいしまのあるトラねこだ…、ということで、おれの話をはじめよう。イッパイアッテナがルドルフと出会うまでの物語。

5		**すごいぞカラス** クリス・パターワース/作 オリヴィア・ロメネク・ギル/絵 松原 始/訳 978-4-86549-379-5	ひさかた チャイルド 2026.7 1,870円	私達のすぐそばで暮らす謎がいっぱいのカラス。嫌われがちのカラスの見方を変えてくれる、驚きを伝える美しい科学絵本。 カラスの見方が変わる！自然観察の驚きと楽しさを伝える美しすぎる科学絵本ゴミを漁り、なにかと怖がられて、カアカアと鳴けば、煙たがられて…。そんな嫌われ者のカラスをよーく観察してみると、おもしろい生態が見えてきます。・木の枝を使って虫を食べる！・えさの隠し場所を覚えている！・雪の上を滑って遊ぶ！知れば知るほど好きになる！私たちのすぐそばで暮らす、謎に満ちた「大きくて黒い鳥」を観察してみましょう。
6		**べんきょうしなくちゃ ダメですか？** 村上 しいこ/作 石井 聖岳/絵 978-4-06-543722-3	講談社 2026.7 1,650円	「どうして勉強しなくちゃダメなの？」なんでも面倒くさがりの3年生のひびとくん。突然お母さんが勉強を始めて…。 「ダメダメ小学校」に通う主人公シリーズ。シリーズの中のイチ押し！！ 「勉強しなきゃダメ！」「時間をムダにしたらダメ！」……。日ごろ、子どもたちが親や先生からいわれがちなこと。でも、それっとホントにダメなの？ めーんどくさい、めんどくさい。しゅくだいするの、めんどくさーい。めーんどくさい、めんどくさい。やる気がどんどん、赤信号。
7		**友だちいないと ダメですか？** 令丈 ヒロ子/作 まつなが もえ/絵 978-4-06-543772-8	講談社 2026.7 1,650円	「友達がいなくてもいいと思う私はダメダメなの？」3年生のもかちゃんは家族に聞き回って……。 「ダメダメ小学校」に通う主人公シリーズ。 友だちがいないわたしって、さみしくて、ツラくて、元気出なくて、つまらなくて、ありえなくて、ダメダメなの！？ クラスの友だちから「友だちがいない」認定されちゃった、もかちゃん。友だちってなんだろう？どういうのが友だち？クラスのみんなからわいわい言われたり、たよれるいとこのおねえちゃんの意見をきいたり。そこへ両親も、くわわってきて……さあ、どうなる？
8		**タイパわるいの ダメですか？** 松素 めぐり/作 林 ユミ/絵 978-4-06-543926-5	講談社 2026.7 1,650円	何でもテキトーな4年生のキリオについて研究することにした、真面目タイプのアリマ君。その研究発表は…。「ダメダメ小学校」に通う主人公シリーズ。 時間にテキトーで宿題をしたこともなく、なにもかもダメダメなキリオ。なんでみんなに人気があるの？ 将来を考えて、スケジュールも勉強もきっちりこなしているアリマと、いまこのときを楽しんでいるキリオ。「理解できないものを調べる」というテーマの宿題が出て、アリマはキリオについて調べることに。なぜ宿題をしないんだ？放課後はなにをして過ごしてる？ぼくのほうがちゃんとしているのに、なぜキリオのほうが人気者なんだ？塾を休んでまでキリオにはりついて調べた、アリマの研究発表はどうなる…！？
9		**やまゆり** たての ひろし/作 978-4-338-36202-3	小峰書店 2026.6 2,200円	数年かけてやまゆりを取材し、やまゆりの成長だけでなく周囲で生きる虫や鳥も観察、記録した絵本。美しく繊細な絵が魅力。 森に風が吹く。森に音がする。森がうごめく。死んでいく。生きていく。 やまゆりの芽生えと成長は美しく、老いや死までもが希望に満ちている。 やまゆりは誰かの場となり糧となり、森の一部となり森そのものとなる。 日本絵本賞を受賞した『どんぐり』に続く、舘野鴻が描く植物・第二弾。 第一弾は、『どんぐり』2023.9刊。 
10		**森の落としもの探検帳** **ちっちゃな宝物のひみつ！** 飯田 猛/著 978-4-297-15807-1	技術評論社 2026.9 1,540円	森の落としものを探しながら、森を歩く楽しみ方を紹介。生き物たちが食べた木の実や葉っぱ、鳥の羽など…。森に出かけたくなる本。 森の中には、生き物たちが食べた木の実や鳥の羽根のような、さまざまな動植物の営みの痕跡を見つけることができます。本書ではどんな動物がいて、どのような暮らしをしているのかを痕跡（フィールドサイン）を見つけながら、動植物の生態系を学んでいきます。「拾って楽しむ」「調べて楽しむ」「飾って楽しむ」を基本コンセプトに、森の落とし物を探しながら森を歩く楽しみ方を紹介。森の落とし物にはそれぞれ森の物語が隠れています。本書と一緒に森に出かけることで、思いがけない発見が見つかるかもしれません。
	小学校・高学年			
1		**きみはてき** 内田 麟太郎/文 ひぐち ともこ/絵 アーサー・ビナード/英訳 978-4-7592-2299-9	解放出版社 2026.5 1,980円	のどかな村に小さな爆音が聞こえる。戦争は平和な仮面をつけてやってくる。銃口の先にいる敵を撃った。命中して倒したのだが、敵だったのか？ 人ではなかったのか？ 希望があり恋人がいて家族がいる。自分もそうであるように、その人にも希望があり恋人がいて家族がいたのではないか。引き金を引き銃弾が命中する刹那、心によぎる逡巡。そして自分もまた銃口の先にいる恐怖と緊張。人が壊れていく。誰が戦争を起こすのか。どうして止められなかったのか。本当の平和を見失ってはいけない。勇ましい言葉に酔いしれて騙されてはいけない。大事な時間を、愛しい人を、手放してはいけない。本書は銃を撃ち着弾するまでの物語である。世界中に届けたい思いを込めて英訳を付す。
2		**くらげくんの発明** はら まさかず/文 そねぼん/絵 978-4-7520-1192-7	アリス館 2026.7 1,815円	ある日、クラゲを引き連れて歩く不思議な少年と出会う。くらげくんは学校に通ってはいないが、色々なものを発明し、世の中をちょっと明るくしているらしい。2人のちょっぴり不思議で忘れられない夏が始まる。 スイミングからの帰り道に出会ったのは、空中にぷかぷか浮かぶくらげを引きつれた、ふしぎな少年。もしも、ヘンテコな発明品を作る友だちができたら？「くらげくん」に出会って、タカハシの夏休みは、かがやき出す！
3		**星の台所** 落合 由佳/著 978-4-06-543927-2	講談社 2026.7 1,760円	不登校の星は母の勧めで家庭教師をつけることに。人に言えない悩みをかかえる星は、勉強だけじゃなく料理を教わったり、大学に連れていってもらったりと、天ちゃん先生に心を許していくようになる。そして、人に言えない悩みと向き合い始める。 生まれて初めて、女の子から手紙を渡された。びっくりして、ドキッとして。胸がにぎりつぶされるように、くやしくなったんだ。ある理由から、学校に行かないことを「積極的」に選んだ5年生の星。彼を心配した母親が連れてきたのは、料理上手な家庭教師・天。天の影響で料理に興味を持ち始めた星。料理を作ることで星は、学校に行かない理由ーーー彼の人に言えない悩みーーーに向き合い始める。同性の親友への思いに葛藤を抱える少年が、心の自由を求める姿を描く感動作！ 「食」を通して、さまざまなテーマに切り込む『天の台所』『要の台所』に続く第3弾！
4		**心がたまらんかった** **しぃちゃんは被爆者** 由美村 嬉々/作 あんの まさ恵/絵 978-4-337-02531-8	国土社 2026.7 1,980円	18歳の夏に被爆した静子さん＝しぃちゃん。顔や体に大やけどを負ったが、命は助かる。しかし、顔に残されたやけどのあとを〝赤鬼〟とからかわれ、心まで傷つく。でも同じ被爆者とともに99歳の今も、生の声を届ける。 広島の農家に末っ子として生まれ、大切に育てられてきたしぃちゃん。あこがれの将校さんとも結婚できて、幸せをつかんだはずでした。ところが、18歳の夏、あの朝のほんの一瞬で、死のふちに追いやられました。しかも、顔に残されたやけどのあとを"赤鬼"とからかわれ、心まで傷ついたしぃちゃんでしたが……。 ノーベル平和賞を受賞した"被団協"の結成に携わり、その原点を知る阿部静子さんの生の声を通して、いま失われつつある被爆体験を記録し、後世に伝えるノンフィクション絵本。

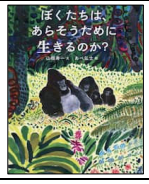
5		**宇宙人のいる教室** 長谷川 まりる/作 鈴木 夏菜/絵 978-4-265-84075-5	岩崎書店 2026.8 1,650円	美月のクラスに宇宙人パー子が転校してきた。お世話係に任命された美月。みためも言葉も違うパー子に戸惑いながらも、少しずつ支え合い友だちになっていく物語 新しい学校に転校してきた美月は、クラスになじめず、どこかひとりぼっちのような気持ちを抱えていた。そんなある日、クラスにもうひとり転校生がやってくるという話を聞き、「今度こそ仲間ができる」と期待する。けれど、その子は宇宙人だった。教室に広がる、興味と好奇心、そして無意識の距離。〈ちがう〉ことは、そんなに特別なことなの？だれかと一緒にいることのむずかしさとあたたかさを描く、静かな成長の物語。
6		**おれたちとニャン、 たった一日の冒険** 高森 美由紀/作 978-4-577-05476-5	フレーベル館 2026.8 1,650円	つまらない夏休みを過ごすはずだった隆は、ひょんなことからクラスメイトのバターとハルと自転車で大冒険に出ることに！！進むたびにお互いのことを知りキョリが縮まっていくはちゃめちゃロード・ストーリー。 たった一日で、オレの夏休みは「最高」になった。留目陸、小学五年生。つまらない夏休みをひっくり返したのは、一匹の捨てネコとの出会いだった。その子ネコをきっかけに友だちになった、バターとハル。自転車を走らせ、オレたちの小さくて大きな冒険が幕をあける！
7		**知りたい！世界の国の文化とくらし　4 ロシア** 沼野 恭子/監修 978-4-337-22604-3	国土社 2026.7 4,400円	ロシアの言葉や食べ物、昔から伝わる遊びや行事、学校の様子など身近なくらしの様子が分かる1冊。6年生社会調べ学習にぴったり。 「知りたい！世界の国の文化とくらし」シリーズ　①韓国　②中国　③ブラジル　④ロシア 1　国土のようすを見てみよう（ロシアはどんなところ？･･･） 2　子どものくらしを見てみよう（小学生のくらし･･･） 3　食文化を知ろう（ロシア料理の特徴、ロシア料理をつくろう） 4　伝統文化を知ろう（年中行事とお祭り･･･） 5　国のしくみを見てみよう（ロシアの政治や社会のしくみ･･･）
8		**ふたりのあした** 石井 睦美/著 978-4-652-20793-2	理論社 2026.9 1,650円	卒業まで2か月とちょっとというタイミングでやって来た転校生の中野さんは、少し変わっている。仲の良かった杏里ちゃんと少し距離を感じている朋美は、中野さんのことを知るたびに気になっていく。友だちとはどんな人なのかを、読書のよろこびと共に感じることができる物語。 卒業まで2か月とちょっと。1月の第2週に、転校生がやって来た。その子はまっすぐ前を向いて、だれのことも見ていなかった。緊張しているのかもしれないけど、おどおどしてはいない―気になる。その子と仲よくなりたいのか、わたし？
9		**同じ水のなかで 鈴木孝幸選手の挑戦は止まらない** 高橋 うらら/作 978-4-86389-773-1	静山社 2026.10 1, 760円	生まれつき手足に重い障がいがありながらも世界で活躍する競泳パラアスリートの鈴木孝幸選手の努力と軌跡。障がい者と健常者が共に生きる社会を目指す挑戦を描いたノンフィクション。 生まれつき手足に重い障がいがありながらも、世界の舞台で活躍し続け、パラリンピックでは金3個・銀5個・銅6個という輝かしい成績を残してきた競泳パラアスリート・鈴木孝幸選手。 鈴木選手は、「競技で結果を出すこと」だけではなく、スポーツを通じて社会そのものを変えていきたいと考えてきた。その思いから自ら立ち上げたのが、「鈴木孝幸杯インクルーシブ短水路水泳競技大会」。障がいのある人もない人も同じレーンで競い合うこの大会には、誰もが自然に共に生きる社会を当たり前のものにしたいという願いが込められている。困難を乗りこえ、自ら道を切り拓いてきた軌跡と、その先に見据える「共に生きる社会」への挑戦を描く、希望に満ちた児童向けノンフィクション。
10		**わたしたちの生活を おびやかす生きものたち　5 増えすぎるシカ かわいいけど被害は重大！** 江口 祐輔/監修 978-4-272-40766-8	大月書店 2026.9 3,850円	北海道でも問題になっているシカについて、増えすぎている理由と対策をグラフや写真で詳しく解説している。 シカが原因で、こんなことに困っているよ。被害をくわしく見てみよう。「シカ」ってどんな動物かな？どういうくらしをしているの？シカは増えやすい！人間とのさまざまなかかわり。 シカの害が増えている理由。シカによる被害への対策。被害が減らないのはなぜ？シカがもたらす環境破壊。知っておこう！野生動物にかかわる法律。 シリーズ「わたしたちの生活をおびやかす生きものたち」全5巻 1.かしこいカラス　2.進化するネズミ　3.山から出てくるクマ　4.わがもの顔のサル

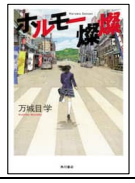
2026年度(令和8年度)

冬休みにおすすめする本

選　定　北海道学校図書館協会

選定協力　札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 税込価格	※選定コメント　もしくは出版社による紹介など
	中学校			
1		**成長する有機体** 歌代 朔/作 978-4-251-07323-5	あかね書房 2026.7 1,980円	それぞれが悩みを抱えた中学生3人が、「職場体験」を通して成長していく物語。図書館の仕事や裏側も見ることができる。 図書館で、「職場体験」をすることになった三人。自分の名前がきらいで人と話すと緊張しがちな普花。文字の　読み書きが苦手な“ふざけキャラ”の周。小学校から不登校で、タブレットでの会話もチャットのみの良輝。それぞれが5日間の体験に向きあい、小さな出会いに背中を押されて踏みだしていく…。不器用で愛おしい、そんな一歩の物語
2		**ぼくたちは、 あらそうために生きるのか？** 山極 寿一/文 あべ 弘士/絵 978-4-03-333780-7	偕成社 2026.6 1,540円	ゴリラ研究の第一人者山極先生が贈る平和へのメッセージ。ヒトは、わかりあいたいという気持ちによって、この世界を生きのびてきた。ヒトは進化の過程でコミュニケーションに必要な身体的特徴を獲得したということをやさしく語る。あべ弘士さんの絵も素晴らしい。 ヒトは、700万年前に誕生してから、たがいにわかりあいたいという、その気持ちを深めることで、この世界を生きのびてきた。そんな気持ちをだいじにすれば、きっとぼくらは、もっと平和な世界がつくれるはずだ。世界的な霊長類学者がこどもたちに贈る希望のメッセージ。

3		**チリケン** 神戸　遙真/著 978-4-09-289348-1	小学館 2026.7 1，650円	千葉県の高校にある地理研究会(チリケン)は廃会寸前の中、立て直しをすることになった。その中で起こる友達同志の反発はまるでN極とS極のように実は逆転することもある。地理×青春ストーリー。 「地図が好き」から始まる高校生たちの物語。 無類の地図好きの小桜佳純は、高校一年生ながらも地理学研究会、通称「チリケン」の新会長に任命された。廃部寸前のチリケン、個性こってり濃いめのメンバー、新任顧問もなんだか頼りにならないし……。でも、千里の道も一歩から。身近な世界の地理、歴史、地学にまつわる、魅惑のフィールドワークが始まる。
4		**パレスチナの羊飼い** アン・ローレル・カーター/著 櫛田　理絵/訳 978-4-7515-3310-9	あすなろ書房 2026.8 1,980円	パレスチナ自治区に住むアマニは、祖父のような羊飼いになると心に決めていた。そんな中、アマニの父はとらえられ、家や家畜小屋がイスラエル人によって破壊された。アマニの未来はどうなるのだろうか――。 パレスチナ人の少女・アマニは、幼い頃から、愛する祖父シドのように羊飼いになることを夢見ていました。彼女の家族は何世代にもわたり、オリーブ畑の上にある山で羊を放牧してきたのです。念願の羊飼い見習いとなったアマニは、学校では教えてもらうことのできない山の知恵を学びながら、羊とともに生きる術を身につけようとした矢先、思いもかけない出来事が……。パレスチナ人とイスラエル人の間の紛争と社会の問題を新たな視点で描いた物語。
5		**雨色のキャンバス** 七海　まち/作 978-4-09-289347-4	小学館 2026.6 1,650円	親友が放ったひと言で別室登校を始めたあざみ。そこで出会ったヤナギさんと絵画を鑑賞することで物事を多角的に受け取ることができるように。集団の中で「普通」でいるのが息苦しいと感じるティーンズのための物語。 あなたの世界は何色ですか？　中学一年の九月。親友から放たれたある一言が原因で、西風あざみは教室に入れなくなった。担任のすすめで始めた別室登校。おそるおそるドアを開くと、そこには先客－－ヤナギさんがいた。彼女は勉強の時間も、いつも画集を見ている。そして言う。「絵の見方を知ったら、世界の色が変わって見えたんです。私は、世界のいろんな色を見たいんです」ねえ、教えてくれないかな。その「絵の見方」っていうのを……。
6		**星のおちた海** **海神の姫君と浜辺の兄弟** 菅野　雪虫/著 978-4-06-542803-0	講談社 2026.9 1,760円	平安時代の陸奥の国。津波に翻弄される兄妹を巡る物語。各章扉に万葉歌が置かれ、読み手を歌と物語世界に誘(いざな)う。浦島太郎伝説も下敷に。 「では行きますよ。その前に、あなた方の村をよく見ておいてください」二人は住み慣れた村のほうをふり返りました。大きな満月の光に照らされた村の家々は静かで、そういえば、こんなふうにじっくりと夜の村を見るのは初めてだなとタケルは思いました。平安のころ。京の都から遠く北にある陸奥の国。黒い浜の郷でくり広げられる、記憶と愛の物語。
7		**魔女と家族になる方法** 木地　雅映子/作 五十嵐　大介/絵 978-4-03-727510-5	偕成社 2026.6 1,980円	「今を生きるすべての人に贈るノンストップ・ファンタジー！」 家での居心地の悪さ、学校の友達との不仲、少しずつ大人なる主人公が大人の何気ない言葉に傷ついている。ファンタジーでありながらリアルな側面が心に響く。 ぼくは、この世界で、自分の力で、生きていけるようになりたい。家にも、学校にも居場所のない玲は、ある日家を出て、そのままどんどん歩いて山にたどりつき、迷いめんどりと出会う。それは、大鎌の魔女ヌイと暮らす金の卵を産むめんどり、コケコだった。ひょんなことから金の卵を手にした玲は、ヌイから取引を持ちかけられる。金の卵と引き換えに、なんでも願いごとをかなえてあげましょう、と。玲が考えた、願いごととは？
8		**エントラーダの子どもたち** エレン・オー/編 原田　勝/ほか訳 978-4-7515-3309-3	あすなろ書房 2026.6 1,980円	様々な移民が住むアメリカ合衆国。そこにあるアパート「エントラーダ」には様々なルーツの家族(子ども)12世帯が住み、それぞれのルーツの物語がある。作者と訳者もそれぞれ12名。 ここは移民の国アメリカ。中南米、中東、インド、フィリピン、韓国…さまざまなルーツをもつ子どもたちの夏休みは？彼らの日常を描いた12の家族の物語。12人の作者と12人の訳者による連作短編集！アメリカの、とある街に建つ古いアパート。その名も「エントラーダ」。スペイン語で「入口」のことです。ここでは、さまざまなルーツをもつ家族が暮らしていて、いつもにぎやか。とびかう言葉だって7言語以上！だから、時に衝突したり、珍騒動も…？！
9		**その本、発禁処分トスル** 村上　しいこ/作 かわい　ちひろ/絵 978-4-378-01576-7	さ・え・ら書房 2026.8 1,760円	中3の男女3人が文芸誌を作ることになった。しかし、一生懸命作った文芸誌が、発刊禁止になった。なぜだ？　文学×青春ミステリ！！ 中学三年生の啓志郎、愛茉、聖一の三人は文芸サークルを立ち上げ、情熱を注ぎこんだ文芸誌『放射スル』を発刊する。よろこびもつかの間、三人に突きつけられたのは、まさかの発禁処分だった。先生の説明は歯切れが悪い。とうてい納得なんかできない！真相を追い求める三人はやがて、40年前の文芸部誌にたどりつく。その一部はなぜか、黒くぬりつぶされていた…。純文学の聖一が本質をえぐり、大衆文学の啓志郎の観察眼で内面にせまり、ミステリの愛茉の推理で真実の扉をこじ開ける！はたして、文学の自由を守ることはできるのか？
10		**スマホを持たない君へ** 清水　晴木/著 978-4-569-88270-3	PHP研究所 2026.6 1,430円	スマホを持つ？持たない？スマホを持っていないと人間関係のつながりがうまくいかないの？良い悪いを決めつけず、持ちたい事情と持たない思いを描いた作品。 つながるほど、孤独を感じる君に。同じ教室にいて、スマホに対する考え方は一つじゃない。4人の視点で紡がれる、それぞれの当たり前を描いた物語。 同じ教室にいてもスマホとの距離は十人十色。スマホ社会で繋がるほど孤独を感じる君へ届ける、本当に大切なものを見つける物語。
	高等学校			
1		**汽笛、聞こえる** 佐藤　雫/著 978-4-08-770062-6	集英社 2026.7 1,870円	日本で最初の保育施設、現・赤沢保育園誕生の軌跡を描いた物語。兄弟の面倒をみるために、自分の学ぶ機会をのがす子どもをなくしたいという思いを強く感じる一冊。 辛い過去を抱え故郷を去り、奉公先である新潟静修学校に辿り着くナカ。尋常小学校を出た後、家庭の事情などで進学を諦めた人たちのために開かれた私塾だが、幼い弟妹を働く親に代わって世話する生徒が多かった。そんな生徒たちのために子守をするのがナカの仕事だった。自らの過去を重ね合わせ、次第に子供たちと打ち解け、存在意義を見つけていく。やがて生徒の弟妹以外にも子を預ける親が増え、校長の赤澤鍾美は託児所を「付設子守室」とした。しかし、幼稚園として独立しなければ違法だと官吏から警告を受ける。それには学費を上げなければ続けることが出来ず、本当の意味でここにいる者たちを救うことにはならない。苦渋の決断を迫られたナカと鍾美がとった策とは―。
2		**ホルモー燦燦** 万城目　学/著 978-4-04-116536-2	KADOKAWA 2026.6 2,145円	「ホルモー」という謎の競技に出会った京都の大学生たちの青春群像劇。シリーズ20年目の完結編は、バカバカしくも熱い青春の大円団！！ このごろ都にはやるもの、決戦、助っ人、大茶会。ホルモー競いて幾時代、川の流れは絶えずして、因果は巡るよどこまでも。オニを追ってか追われてか、今宵も河原でひといくさ、今宵もタワーでふたいくさ。このごろ都にはやるもの、好敵手、テンシキ、古茶釜。古都の騒ぎを聞きつけて、天下に広がる動きアリ。落下上等下剋上。目指すはテッペン、ホルモーdeタァップ！拓みに、迷いに、友情に、思いの丈は蛇行して、耀くアムリタ天駆ける。二つの都にこだまする、狂喜乱舞の雄叫びウェーブ。二十年目の大団円、問答無用の完結編。「ホルモー燦燦」いざ見参！

3		**春までのセンセイ** 早見　和真/著 978-4-575-24919-4	双葉社 2026.9 1,980円	32人の中学生と余命の制約のある教師の織り成す一年間の物語。今日一日を大切に過ごすことを考える一冊。 先生は私に命がけの言葉をくれた―― ひとりの教師と32人の生徒が向き合う“最後”の1年。東京都杉並区にある私立稜花女学院中学校。新年度に発表された3年E組の担任は、加賀美秀彦という中年の国語教師だった。最初は冴えないと思っていたけれど、先生の言葉はなぜだか心に響いてくる。それなのに夏休み直前、先生は病気で学校を辞めるというウワサが流れて…。クラス全員がバトンをつなぐ、一生に残る一年間の物語。
4		**みんな、好きが下手** 小林　早代子/著 978-4-10-351763-4	新潮社 2026.5 1,760円	大学生のジン太はちょっと自意識過剰。素直な言葉を伝えることが出来ず、色々と行き違うことが多い。SNS全盛の令和の著者の「でしょうね」が満載の痛々しく瑞々しい失恋小説。 彼女に「好き」と言うことは、「いいね！」を1000回もらうより難しい。東京生まれサブスク育ち、人生を懸けるほど好きなものが見つからない大学一年生、ジン太。愛情豊かな両親、優等生な姉、過剰だけど憎めない幼馴染に囲まれて何不自由なく育ち、大学には気の合う仲間もいる。だけど、なぜか恋愛だけがうまくいかない。この原因はいったい何？　痛々しくて瑞々しい、令和の失恋小説決定版！
5		**アイヌやめるの　やーめた！** 原田　公久枝/著 978-4-909281-79-1	寿郎社 2026.9 2, 200円	子どもの頃から差別にさらされてきた。その理不尽さに「アイヌやめる」と母親に宣言したのは15歳のとき。宣言したから差別が無くなる訳では当然ない。半生の差別とその時々の自分をあるがままに熟く語ったエッセイ。 15歳で疲れきって「もうアイヌやめるわ」と宣言し、40歳ごろから“アイヌデンティティ”を取り戻していった著者がその半生と深刻な差別の実態を綴った本。 「悲しさにうつむいた。悔しさを噛みしめた。今もその思いの中にいる。そんな人に読んでもらいたい。アイヌ（アイヌ語で「人間」の意味）女性の人生を。魂って温度があるんだって、読んでくれた人と感じ合いたい。うんうんって、微笑み合いたい。」――俳優 宇梶剛士